

境町立学校再編整備計画(修正案)

令和8年7月
境町教育委員会

境町学校再編整備計画(修正案)資料

目 次	ページ
はじめに	2
1. 計画策定に当たって	3
(1) 目的	
(2) 境町立学校再編整備計画の経緯	
(3) 計画の取組期間	
2. 統合後の児童数・学級数及び今後の推移	4
3. 学校再編案について	5
(1) 見直しのポイントと新しい方針	
(2) 既存校の活用にあたっての比較	
(3) 学校再編案について	
4. 境町モデルの導入について	8
(1) チーム担任制・教科担任制	
5. 学校再編における今後の取組	9
(1) 保護者や地域の皆様との合意形成	
(2) 統合準備委員会（案）について	
(3) スクールバス対象エリア	

はじめに

境町においては、学校の小規模校化が進んでおり、将来的にも児童生徒数の減少は続く想定されます。学校の小規模校化には、教員の目が一人一人に行き届き、指導が充実するなどの良い面がある一方で、人間関係が固定化しやすく、子ども同士の幅広い交流や多様な意見に触れ合える機会が少なくなるなど、様々な課題も指摘されています。

このような中、令和3年7月に境町学校のあり方検討委員会を設置し、約1年間にわたり検討され、令和4年5月に町教育委員会に提言をいただきました。この提言内容や児童生徒数の推移、教育の動向などを踏まえたうえで、「境町立学校再編整備計画（素案）」を策定しました。

具体的な方策を挙げ、適正化に向けた検討をした結果、再編案として猿島小と森戸小と境二中を統合し、境二中の敷地を活用して義務教育学校とすることを示し、再編整備を目指すこととしました。

「境町立学校再編整備計画（素案）」につきましては、令和4年12月8日の町議会議員への説明、その後、各地区代表行政区長、また町立小中学校長、そして令和5年1月には町立小中学校のPTA会長への説明を行い、その後、1月24日から1月31日の期間に、全町民を対象として、小学校区域ごとに地区説明会を開催し、本計画の素案の内容について、おおむね理解を得られました。また、素案についてパブリック・コメントを実施し、町ホームページやお知らせ版に掲載し、閲覧、意見が提出されましたが、肯定的な意見であり、計画を進めることとなりました。

また、再編整備計画を進めるにあたり、再編整備に係る予算規模の見通しを持つことも非常に重要であることから、境第二中学校区の小学校の統合と、統合に合わせた境第二中学校の小中一貫校の整備に係る建設費などについて調査を進めましたが、近年の資材単価や人件費の上昇による建築コストの高騰により、莫大な金額となったことから、工事期間も含め、最適な建設方法と予算規模について再度検討を余儀なくされました。

その後、令和6年9月境町議会の定例会において「境第二中学校区小中一貫校設置特別委員会」が立ち上げられたことから、本計画についても、令和6年度の児童生徒数等最新のデータに入れ替えたもので作成し、計画の見直しを行いました。前計画からすると、児童数の部分で、境小と長田小が増加し、猿島小・森戸小・静小が減少していますが、計画の内容そのものには、大きな変更部分はありませんでした。

更なる建築コストの高騰という課題を乗り越えることが難しい現状を踏まえ、「質の高い小学校教育をいち早く提供する」ために、当初の猿島小、森戸小、境二中の3校統合による義務教育学校の設置計画を一部変更し、先行して「小学校2校の統合」という新しい方針を示して進めていきたいと考えています。